

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等					
11409 総合コーディネーター 【重点】	拡充	コーディネーター件数 35件	27件	13件	21件	31件	継続	○	増加	(子育て総合センター管理運営事業経費に含む)	子育て総合センター	
11410 託児ボランティアのコーディネーター	継続	依頼回数 176回 派遣人数 559人	186回 619人	101回 541人	148回 511人	138回 403人	託児(規模、人数、場所等)に合わせたコーディネーターを行っている。	◎	他課からの依頼にも応じて、託児ボランティアをコーディネーターし派遣している。	(子総セ管理運営経費に含む)	子育て総合センター	
2章 子どもを健やかに育む環境づくり												
1節 子どもの遊び場・居場所づくり												
12101 公園施設のバリアフリー化等の推進	継続	整備箇所 2箇所	3箇所	6箇所	4箇所	2箇所	後期計画の内容に基づき実施した。	△	未対応箇所の継続した実施が必要で予算の確保が求められているため。	0	更なるユニバーサルデザインによる誰もが使いやすい公園整備を行う。	公園緑地課
12102 公園等の整備の推進 【重点】	拡充	都市公園整備数 6箇所 (都市公園数 428箇所)	3箇所 (432箇所)	7箇所 (459箇所)	8箇所 (470箇所)	3箇所 (473箇所)	後期計画の内容に基づき実施した。	△	現行の設置基準を満たすための遊具の再配置などが出来ていないため。	8,002	更なる子どもの安全・安心に配慮しつつ、公園緑地整備を目指す。	公園緑地課
12103 公園の安全対策	継続	(H21年度新規事業)	0基	6基	6基	21基	今後、全ての公園遊具の更新が計画的に必要であり、予算の確保が求められる。	△	現行の設置基準を満たすための遊具の再配置などが出来ていないため。	公園等の整備の推進に含む	補修改良費用の確保が難しい。長期的な補修改良の見直しが必要。	公園緑地課
12104 児童館・児童センター 【重点】	拡充	児童館数 8箇所 延利用者数 227,786人	9箇所 281,344人	9箇所 270,127人	9箇所 271,030人	9箇所 260,145人		○	多くの講座等も開催し、支援の充実を図った。また、児童厚生員が研修等にも多数参加し、スキルアップも図った。	187,655	「児童館的機能の全市展開」や「児童館施設の統廃合」についての方向性と、施設や運営主体についての検討を行う必要がある。	子育て総合センター
12105 みやっこキッズパーク 【重点】	拡充	延利用者数 25,802人	25,312人	24,351人	27,096人	24,212人	事業の継続的な実施。	◎	利用者の継続的な利用が行われている。	13,917		子育て総合センター
12106 子どもの遊び場開放事業 【重点】	事業終了	利用者数 16.5人日	16.0人日	(H23年度廃止)	—	—		—	—	—	【廃止の理由】 公立小学校の運動場を土曜日に一律開放する本事業を廃止し、地域における子どもの居場所づくりに関する活動への支援事業を拡充して対応することとした。	社会教育課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
12107 放課後子ども教室推進事業 【重点】	拡充	実施箇所 1箇所 延利用者数 20人日	1箇所 27.5人日	28箇所 29.4人日	35箇所 39.5人日	36箇所 38.3人日	国の補助を受け市内36箇所において放課後子ども教室事業を実施。	○	9,210	運営は各地区の青少年愛護協議会に委託しており、各地区の特性を生かした様々な活動を行っている。場所の確保や人材の問題などの地域毎の課題があり、地域の負担面から拡充には限界があるため、子育て総合センター所管の児童館・児童センターと連携した取り組みを行うことで、地域の教育力の活性化を図るとともに事業の一層の充実を目指す。	社会教育課 子育て総合センター
12108 学校体育施設の開放 【重点】	継続	延利用者数 616,268人	611,142人	600,741人	565,533人	497,120人	継続して取り組んでいる。	○	10,673	H26年度よりスポーツ行政に関する事務(学校体育施設開放事業及び学校体育を除く。)が市長事務部局へ移管され、教育委員会と事務の整理が必要。	学校管理課
12109 宮水ジュニア事業 【重点】	拡充	講座数 年間44講座	59講座	64講座	61講座	56講座	講座経験を生かし、子どもたちが講座の企画・運営に参画することを、西宮養護学校宮水ジュニア講座と宮水ジュニアまつりで試行的に行った。	◎	8,877	今年度も新規講座(新規講師)の開講に努めながら、講座内容の充実を図る必要がある。	中央公民館
12110 こども講座等	継続	(H22年度 新規追加 事業)	参加延人数 4,451人	4,662人	4,836人	4,829人	子どもの習熟度に応じた講座のコース分けを行うことで、事業内容の質の向上に努めた。	○	2,360	引続き参加者へのアンケート等の調査をもとに、事業内容の検証を進め、市民のニーズにあった事業の実施をはかる。	若竹生活文化会館
2節 地域との協働で進める子育て支援の推進											
12201 児童委員・主任児童委員の活動(子育て支援事業)	継続	相談・支援 延件数 2,711件	3,353件	3,861件	4,260件	4,335件	欠員解消を目的に、民生委員・児童委員の活動に関する冊子を作成し、地域団体の代表者を中心に配布し、民生委員・児童委員に関する広報を行った。	◎	—	依然30名以上の欠員があることから、欠員解消にむけ、民生委員・児童委員に関する広報を行っていく。	地域共生推進課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課	
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等					
12202 児童館における地域交流事業	拡充	参加人数 1,636人	1,847人	2,278人	2,548人	2,349人	館によっては、地域交流事業を追加して実施した。	○	全児童館で交流事業を実施し、他世代との交流が図れている。	(児童館・児童センターを含む)	引き続き、館内で地域交流の事業を実施し、他世代との交流を進める。	子育て総合センター
12203 児童館母親クラブの活動支援事業	拡充	母親クラブ数 5箇所	5箇所	6箇所	6箇所	6箇所	平成24年度より当事業への国庫補助金が廃止されたことにより、平成25年度は1箇所あたりの補助金を減額した。	○	H23より高須児童センターでも母親クラブが発足。母親クラブの活動は活発に行われている。	(児童館・児童センターを含む)	母親クラブのあり方について、補助金支出の方法も含め検討していく。	子育て総合センター
12204 子育てサークル支援事業【重点】	拡充	登録グループ数 23グループ 利用回数 259回	34グループ 282回	32グループ 194回	26グループ 148回	23グループ 151回	市内サークルにも呼びかけ、サークル交流会、研修会を実施した	○	市内サークルと登録サークルの交流ができたため	(子育て総合センター管理運営事業経費を含む)	全市的な子育てサークルへの支援	子育て総合センター
12205 「子育て地域サロン」への補助事業【重点】	継続	開催箇所数 33箇所 利用者数 25,950人	35箇所 25,913人	35箇所 22,149人	39箇所 24,154人	39箇所 24,956人	24年度事業を継続	◎	利用人数の微増	(子育て総合センター管理運営事業経費を含む)		子育て総合センター
12206 スポーツクラブ21	継続	延会員数 14,343人	13,871人	14,282人	13,476人	12,745人	継続して取り組んでいる。	○	スポーツ推進行政に必要な施策の一つとして、継続して取り組んだため。	2,780	上記、学校体育施設の主たる利用者であるスポーツクラブ21関係事業の取扱について、教育委員会と事務の整理が必要。	スポーツ推進課
12207 地区青少年愛護協議会の活動【重点】	継続	設立数 38地区 事業数 536事業	実施 (39地区青少年愛護協議会) 556事業	実施 (39地区青少年愛護協議会) 487事業	実施 (39地区青少年愛護協議会) 522事業	実施 (39地区青少年愛護協議会) 542事業		○	目標を概ね達成できている。	9,458	県補助金の廃止や市補助金の削減により、活動経費が減少し苦慮している地区がみられる。地域社会の連携を深め地域コミュニティの活性化を図るためには地区青少年愛護協議会の活動を継続していく必要がある。	青少年育成課
12208 西宮市子ども会協議会の活動	継続	子ども会大会参加者数 891人	参加者数 912人	754人	— (悪天候のため中止)	987人		○	目標を概ね達成できている。	2,957	西宮市の子ども会の数は増えているが単位子ども会の数は減ってきている。その原因のひとつに新しい育成者が育たず指導者が不足していることが上げられる。また、地域の大人たちが子どもを地域で育てていける環境を作る必要がある。	青少年育成課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
12209 市民企画講座	事業終了	実施企画数 4企画	食育関連講座など 3企画 (団体) 実施	4企画 (団体) 実施	4企画 (団体) 実施	(H25年度 廃止)	【廃止の理由】 公民館事業への市民参画の場として成果はあった。 市民企画講座を新たに民間教育事業者等活用事業へ移行するため24年度をもって廃止する。	—	—	—	中央公民館
3節 ふれあい・体験等を通じた育成活動の推進											
12301 エコツアー	継続	参加者数 72人	56人	71人	291人	94人	「生物多様性にしのみや戦略」の行動計画等を推進するためのイベントの実施を図った。	○	50	今後とも、行動計画を推進するためのイベントを企画していく。また、次の世代を担う子どもたちの参加数がまだまだ少ないため、子どもたちが参加しやすいような仕組みを考えていく。	環境学習都市推進課
12302 環境学習サポートセンターの活用	継続	来館者数 17,228人	20,899人	23,460人	24,491人	22,584人	来館者の増加につなげるため、他の環境学習施設との連携を図った。また、イベント等の実施に際して、地域広報誌やラジオなどでの施設の紹介を行った。	○	59,517	今後とも、施設のPRに努めるとともに、市民の自主的な環境活動をさらに促し、市民とともに地域ぐるみでの環境保全・環境学習活動を支援するサポート体制の充実が必要となってくる。	環境学習都市推進課
12303 甲山自然環境センターの活用	継続	来館者数 46,624人	45,405人	45,966人	48,427人	45,800人	施設のPRを図るため、これまでの事業を継続するとともに、キャンプ場等の森林整備で生じた木材を使って施設内で薪材を作成し、それをキャンプ場内で使用するという取り組みを開始。甲山周辺の自然環境を保全し、青少年の健全な自然体験ができる環境を保全している。	◎		今後とも、施設のPRに努めるとともに、市民の自主的な環境活動をさらに促し、市民とともに地域ぐるみでの環境保全・環境学習活動を支援するサポート体制の充実が必要となってくる。	環境学習都市推進課
12304 甲子園浜自然環境センターの活用	継続	来館者数 22,082人	22,328人	20,529人	19,554人	19,636人	来館者増加につなげるため、これまでの事業を継続するとともに、他の環境学習施設との連携を図った。また、	◎		今後とも、施設のPRに努めるとともに、市民の自主的な環境活動をさらに促し、市民とともに地域ぐるみでの環境保全・環境学習活動を支援するサポート体制の充実が必要となってくる。	環境学習都市推進課

1. 次世代育成支援行動計画(後期計画)推進事業の実施状況一覧

<評価> ◎=できている ○=ほぼできている △=余りできていない ×=できていない

事業名	方向性	計画策定時の実績(H20年度)	実施状況(実績)					評価	決算額(千円)	問題点・対応等	所管課
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度において行った拡充、見直し・改善等の内容及び特記事項等				
12305 地球ウォッチングクラブ(EWC)エコカート事業	継続	アースレンジャー認定者数 4,030人	4,733人	5,410人	5,705人	5,436人		◎	8,250	総合計画では、平成30年度のアースレンジャー認定者率を30%としており、地域に根ざした環境活動の推進のため、地域との連携等、環境学習の支援体制を充実させ、アースレンジャーの更なる増加を図る。	環境学習都市推進課
12306 ちきゅうとなかよしカード事業	拡充	参加園数 幼稚園2園 保育所23園	市立保育所の3,4,5歳市立幼稚園の4,5歳市内私立保育園の3,4,5歳計4,635枚	市立保育所の3,4,5歳市立幼稚園の4,5歳市内私立保育園の3,4,5歳計4,555枚	市立保育所の4,5歳市立幼稚園の4,5歳市内私立保育園の4,5歳計2,688枚	市立保育所の幼稚園の4,5歳児(市市市立保育所・幼稚園の3歳児及び私立保育園の3,4,5歳は希望園、所に配布)	私立保育所は今年度より実施希望園のみに配布。	◎	394	現在各園にて取り組んでいる活動と環境をより、つなげることによって仕組みを推進していく。	環境学習都市推進課
12307 小学校各種スポーツ大会・教室の開催	拡充	実施回数 15回	18回	18回	18回	18回	継続して取り組んでいる。	○	475	本市が主催する事業への行政の関わり方について、市長事務部局移管に伴い、今後、事務の整理が必要。	スポーツ推進課
12308 家族ふれあい事業	継続	実施回数 9回	年間 9回(内1回は雨天中止)	年間 8回	年間 7回	年間7回		○	405	参加家族には大変好評であり、募集人数を超える応募がある。今後も継続して実施したい。	青少年育成課
12309 こども野外活動体験事業	継続	(H21年度新規事業)	実施 4回 延242人	3回 延142人	4回 延116人	4回 延144人		○	400	市の主催事業では低年齢層での事業が少なく、参加者には大変好評である。今後も継続して実施する。	青少年育成課
12310 青少年育成支援事業	継続	(H21年度新規事業)	実施 7事業	8事業	7事業	6事業		○	300	今後も各団体の事業計画に則り、より効果的な支援を継続して実施する。	青少年育成課